

第6次 佐呂間町社会教育中期計画 (平成23年度～平成27年度)



佐呂間町教育委員会

第6次佐呂間町社会教育中期計画策定にあたって

昭和60年度からスタートした佐呂間町社会教育中期計画も第5次計画（平成18年度から平成22年度）の最終年を迎え、佐呂間町社会教育目標である「人々を 地域を 夢を育む サロマの未来」を基本に、「郷土・住民参画・連携」（第4次）「協働・情報・人育て」（第5次）をキーワードとして捉えながら、関係各位の温かいご指導とご支援をいただきながら町民の学習意欲に応えるよう努めて参りました。

この間、少子高齢化社会の進行、経済構造の変化、情報技術の高度化など、社会は急激に変化し、人々の価値観も多様化し、個々人の物の見方・考え方にも多様な変化を及ぼしております。

佐呂間町は自立の道を選択し、極めて厳しい行財政運営を余儀なくされていますが、教育においても激変する社会に主体的に対応する、活力ある社会基盤としての役割は益々重要度を増し、その責任の大きさを強く受け止めなければなりません。

特に社会教育は学習活動、文化・スポーツなどを通じて生きがいを創造し、豊かな地域づくり・人づくりを目指して主体的に学習実践する町民の育成に努めることが重要な課題となっていたことから新たな計画が求められていました。

このような中であって、佐呂間町教育委員会では第5次に引き続き「第6次社会教育中期計画（平成23年度～27年度）を、同じく平成23年度にスタートする「第4期佐呂間町総合計画」との整合性を図りながら策定されるよう、社会教育委員及び体育指導委員20名で組織する「佐呂間町社会教育中期計画策定委員会」に諮問させていただき、この度、答申をいただきました。

本計画の策定にあたっては、4つの専門部会で現状や問題点の抽出、課題の整理など策定委員の皆さんには、各領域・分野ごとに精力的にご審議いただくとともに、町民の皆さんとの懇談会においては、多くの貴重なご意見等を聴取させていただきました。心から厚くお礼を申し上げます。

計画のキーワードは、「絆・環境・人間力」ということであり、正に今の時代に求められていることであると思います。この計画が社会教育の推進計画に止まることなく、これからの町づくりの指針として、関係機関・団体はもとより、町民各位のあたたかいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

佐呂間町教育委員会

教育長 香川 健一

目 次

第6次佐呂間町社会教育中期計画の関連図

第6次佐呂間町社会教育中期計画の構造

第1章	計画策定の基本方針	
第1節	計画策定の意義	2
第2節	計画策定の基本的な考え方	2
第3節	計画の性格と位置づけ	3
第4節	計画の期間	3
第5節	計画の構成	3
第2章	社会教育目標と計画の骨格	
第1節	社会教育目標	6
第2節	第6次社会教育中期計画のキーワード	8
第3章	社会教育の現状と課題、方向性	
	子育て	12
	育ち	13
	学び	14
	生きがいづくり	15
	健康づくり・スポーツ	16
	芸術・文化	16
	文化財	17
	施設	18
	情報・制度	19
	団体支援	19
資料		21